

食食用放射線測定器

の意向を確認し、子どものための手当や毎月の引き落しで対応したい。

◆給食食材の安全確認

問 新年度予算で2台購入の給食食材用放射線測定器での測定方法は。(丸山)

答 4月から施行の国の新基準値に対応できる測定器で、小中学校持ち回りで調理前の食材を毎日計測する。県への検査依頼や、専門機関への検査依頼などの検査方法を組み合わせていく。

◆保育園・学校給食について

問 新たに購入予定の放射線測定器の活用は。(宮田)

答 2台を各小中学校1週間単位の持ち回りで、調理前に3〜4品目を検査予定。

問 学校給食に市内農産物をもっと取り入れて。(宮田)

答 直売所に出荷される塩尻

産農産物を学校給食へ供給するシステムを導入。数校の検証から拡大したい。



教育再生への取り組みの具体化は

◆教育の理念を議論する

問 塩尻市の教育が全体としてどこへ向かうのか理念がはっきり見えない。教育委員会主導で継続的議論の場をつくる用意はあるか。(青柳)

答 その準備を進めている。

◆教育の諸課題について

問 ①幼保統合「総合子ども園」の組織づくりと課題。②中学校体育授業への柔道導入について。③いじめの実態と対応。④学力テストの計画と

実践課題。⑤学校給食の実態と問題。(務台)

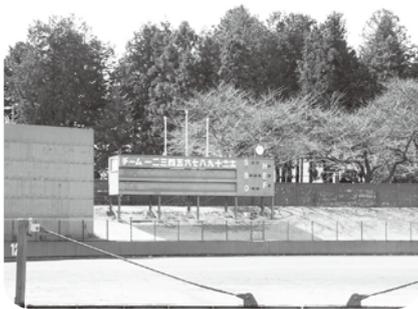
答 ①国の動向を注視し今後慎重に移行運営を考えていく。②市内でもすでに先行実施している。十分な経験指導者を得て万全の安全対策で実施を図る。③いじめについては県下で低い。学校と一丸となって対応していく。④小学校1校中学校3校が指定予定。⑤栄養バランス、マナー、食の知識をまなぶ。残渣は少ない。◆スポーツに親しめる環境をつくる

問 松本歯科大グラウンドの公認取得支援を。(西條)

答 大学所有の施設のため支援は考えていない。

問 市営球場のバックネットを理想位置に整備を。(西條)

答 多額の改修費のため、将来研究したい。



塩尻市営球場

子どもの安心・安全を守る

◆通学路の安全確保について

問 市の考えは。(宮田)

答 子どもたちの安全・安心確保のため、各地区が共通の認識を持って取り組めるよう徹底を図る。

◆児童館・児童クラブ整備

問 24年度片丘地区整備計画と地域資源活用は。(丸山)

答 児童数減少で全国的にも学校の空き教室利用の傾向があり、片丘児童クラブを空き教室に移転する。児童館機能を加え児童厚生員を配置し、地元協力もお願いしていく。



片丘児童クラブ